

VERIFICATION STATEMENT

Project ID: PRJN-683714

Page 1 of 3

川崎汽船株式会社

<検証の目的>

DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社（以下、DNV）は、川崎汽船株式会社（以下、組織）より、「サプライチェーン排出量算定報告書（2024年4月16日版）」（以下、報告書）に関して、第三者検証を依頼された。本検証業務の目的は、組織の主張する温室効果ガス排出量（以下、GHG 排出量）算定結果に関して、算定基準に基づいて適正に算定・報告されていることを確認し、独立した立場から意見表明することである。

<検証の範囲>

検証の範囲は、2023年度における組織の日本国内及び海外での事業における GHG 排出量のうち、Scope 1、Scope 2、及び Scope 3(Category 1, 2, 3, 5, 6, 7, 13, 15)である。連結対象の関係会社 53 社のうち活動量を収集するための枠組みが構築されていない 9 社及び算定対象期間途中から関係会社となった 1 社を除く 43 社の事業の事業における GHG 排出量が含まれる。

<算定・検証基準>

検証対象である GHG 排出量の算定・報告の基準は、GHG Protocol Corporate Accounting and Reporting Standard (revised edition)、ISO 14064-1:2018 及びそれらに基づき策定された組織のサプライチェーン排出量算定手順書（2024年2月25日付）である。また検証の基準は、ISO 14064-3:2019 である。

<検証プロセスと方法論>

上記検証基準への適合性は GHG 算定結果、関連する文書記録類及び提供された十分な証拠のレビュー、要員へのインタビューによって確認された。

<検証声明>

DNV の限定的保証水準に基づく意見として、報告書に報告されている GHG 排出量の主張に関して、組織の GHG 排出量を適正に反映していないことを表す誤りは認められなかった。なお DNV は、本検証業務に限らずグループレベルで組織と財務上の関連性がないことを表明する。

場所・日時：日本・神戸、2024年4月24日

DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社



Akira Sekine
Approved Verifier



Tsuyoshi Katori
Technical Reviewer



Naoki Maeda
Representative Director / SCPA
Senior Vice President

VERIFICATION STATEMENT

Project ID: PRJN-683714

Page 2 of 3

<算定及び検証の対象期間>

2023 年度 GHG 排出量算定及び検証の対象期間は、2023 年 1 月 1 日より 2023 年 12 月 31 日である。

<組織境界>

支配力基準 出資比率基準 その他の基準

*Scope 3 Category 15のみ「出資比率基準」を適用する。

<検証された GHG の種別>

CO₂ CH₄ N₂O HFCs PFCs SF₆ NF₃

<検証された GHG 排出量等>

DNVの検証意見として、GHG排出量のデータは、現実性・透明性・測定可能性のあるものである。

【GHG Protocol 基準】

■ Scope 1: 直接 GHG 排出	6,550,995 t-CO ₂ e
■ Scope 2: 間接 GHG 排出 (location-based)	9,519 t-CO ₂ e
■ Scope 2: 間接 GHG 排出 (market-based)	8,093 t-CO ₂ e
■ Scope 3: その他の GHG 排出 (合計)	4,027,532 t-CO ₂ e
■ Scope 3 Category 1: 購入した製品・サービス	46,901 t-CO ₂ e
■ Scope 3 Category 2: 資本財	177,331 t-CO ₂ e
■ Scope 3 Category 3: Scope 1、2 に含まれない燃料及びエネルギー活動	400,371 t-CO ₂ e
■ Scope 3 Category 4: 輸送、配送 (上流)	Not accounted for
■ Scope 3 Category 5: 事業から出る廃棄物	2,074 t-CO ₂ e
■ Scope 3 Category 6: 出張	632 t-CO ₂ e
■ Scope 3 Category 7: 雇用者の通勤	2,288 t-CO ₂ e
■ Scope 3 Category 8: リース資産 (上流)	Not accounted for
■ Scope 3 Category 9: 輸送、配送 (下流)	Not accounted for
■ Scope 3 Category 10: 販売した製品の加工	Not accounted for
■ Scope 3 Category 11: 販売した製品の使用	Not accounted for

VERIFICATION STATEMENT

Project ID: PRJN-683714

Page 3 of 3

■ Scope 3 Category 12: 販売した製品の廃棄	Not accounted for
■ Scope 3 Category 13: リース資産（下流）	62 t-CO ₂ e
■ Scope 3 Category 14: フランチャイズ	Not accounted for
■ Scope 3 Category 15: 投資	3,397,873 t-CO ₂ e
Outside of scopes (バイオ燃料使用に伴う GHG 排出量)	1,783 t-CO ₂ e

【ISO 14064-1:2018 基準】

■ Category 1: 直接 GHG 排出	6,650,995 t-CO ₂ e
■ Category 2: 外部から供給されたエネルギー由来の間接 GHG 排出 (location-cased)	9,519 t-CO ₂ e
■ Category 2: 外部から供給されたエネルギー由来の間接 GHG 排出 (market-cased)	8,093 t-CO ₂ e
■ Category 3: 輸送由来の間接 GHG 排出	2,920 t-CO ₂ e
■ Category 4: 組織で使用される製品由来の間接 GHG 排出	626,677 t-CO ₂ e
■ Category 5: 組織から出荷される製品の使用段階由来の間接 GHG 排出	3,397,873 t-CO ₂ e
■ Category 6: その他の間接 GHG 排出	0 t-CO ₂ e
Outside of scopes (バイオ燃料使用に伴う GHG 排出量)	1,783 t-CO ₂ e

上記排出量はすべて検証済みである。

<検証意見>

- 無限定適正意見
 限定付適正意見
 不適正意見

DNV は、本検証業務に限らずグループレベルで組織と財務上の関連性がないことを表明する。